

**会員部会 分析・放射能部会
プレイベント
- ウクライナ訪日団との意見交換会 -**

日本 GAP 協会
専務理事 武田泰明

昨年末、会員部会の所属希望についてご回答頂き、ありがとうございます。順次、部会を立ち上げて参りますのでしばらくお待ちください。

さて、このたび、ウクライナ訪日団より連絡があり、下記の日程にて日本 GAP 協会を訪問したいとの依頼を受けました。つきまして、ウクライナ訪日団との意見交換会を分析・放射能部会のプレイベントとして開催致したいと思います。

ウクライナ訪日団は、同国のトッププロフェッショナルばかりであり、そのため当会側も専門的知識を有するメンバーで対応したいと考え、同部会に所属希望の会員を中心に参加をお誘いするものです。

参加ご希望の方は、下記を記入の上、ご返信ください。

日時	2012年2月9日 10時00分から11時30分
場所	日本 GAP 協会（東京都千代田区紀尾井町3番29号 日本農業研究所ビル）
対象者	①分析・放射能部会に所属希望の会員を優先、その他会員も参加可 ②技術委員 ③理事
ウクライナ訪日団	ヴァレンティナ・ヴァシレンコ（ウクライナ医学アカデミー代表：被ばく医療担当） アレクサンドル・カジミーロフ（原発安全問題研究所 放射線機器部門長：食品担当） ボリス・プリステル（原発安全問題研究所 環境再生部門長：農業・除染担当） アレクサンドル・クリュチニコフ（原子力学会会長 原発安全問題研究所所長）
意見交換の議題	①ウクライナでの低線量被曝研究。そこからみた今回の事故の影響について。 ②ウクライナの食品管理システムについて。日本での応用について。 ③ウクライナの農業・除染について。日本での応用について。 ④測定機器の規格統一化について。 ④その他、参加希望の方は事前に議題をお寄せ下さい。
その他	ウクライナ訪日団との意見交換後、自由参加の会食を行いたいと思います。

<2月6日までに参加お申し込みください FAX 番号：03-5215-1113>

会員名		担当		電話	
携帯		FAX			
E-Mail					
<意見交換したい議題がございましたら、自由にお書き下さい。>					